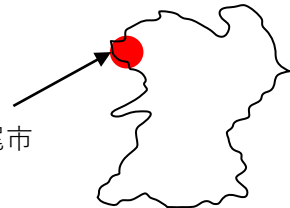


梨の園地継承に向けた受入体制の構築や誘致PRコンテンツの制作

- 荒尾市は梨の産地であるが、担い手の不足等で廃園が増加しているため、産地の維持・発展のため、担い手の確保が必要となっている。
- 先進地視察を実施し、関係機関と連携した梨園地継承の取組方針の作成や継承候補の園地の洗い出し、新規就農者の誘致に向けてのPRコンテンツの制作等を実施。
- 令和7年度は、梨農家と就農希望者のマッチングが2件（うち1件は夫婦）成立し、親からの独立経営を含めた新規就農者4人を確保することができた。

【位置図】

熊本県荒尾市



取組前

- 梨の担い手の不足等により、廃園が増えており、園地の継承が進んでいない。
- 廃園・離農する場合に、園主からの直前での申し出が多く、担い手を探す時間がなかった。
- 就農希望者から問合せがあった場合、関係機関がそれぞれ対応していたため、情報共有や一体的な相談対応・支援等が不十分だった。
- 産地側から積極的に新規就農者を探す取組ができておらず、相談があった場合に対応するケースが多かった。

取組内容

- 園地継承においての先進地である青森県弘前市を視察。
- 就農希望者向けのPRコンテンツ（就農パンフレット等）の制作。
- 短期の農業体験・研修の実施。
- 継承可能な園地を洗い出し・リスト化。

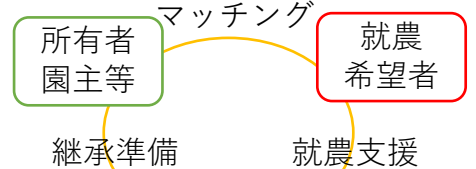


取組後(成果)

- <新規就農者数>
過去3年平均(R4~R6) 1人
⇒ R7: 4人
うち3人（うち2人は夫婦）は、梨園の第三者継承であり、地域計画の受け手不在農地の解消につながった。
- <事業継承の取組方針>
梨園の継承を推進するための取組方針を作成。



【誘致体制】



受入・支援体制

荒尾市	総合窓口、全体調整
農業委員会	農地の紹介、農業委員との橋渡し
熊本県	技術指導
JAたまな	営農指導、融資相談

新規就農者や研修生の声

- 荒尾市からの支援（就農計画づくり、園主との顔合わせ等）のおかげで、梨園を継承する予定となり、うれしい限りです。
- 非農家出身の自分にも、丁寧に対応していただき、自分に合った農地を懸命に探していただき、就農することができて大変感謝しています。

新規就農者誘致環境整備事業 活用年度：令和7年度

【問合せ先】 荒尾市地域農業再生協議会
（荒尾市農林水産課）

TEL：0968-63-1443 E-mail：norin@city.arao.lg.jp
HP：<https://www.city.arao.lg.jp>